

パネルセッション(企画)

子どもの認知的特徴とその家庭に適した学習支援と生活支援
 —子どもと保護者の困り感に寄り添う家庭支援から見えてきた今後の課題—

清長豊 (NPO 法人アジャスト)

1. はじめに

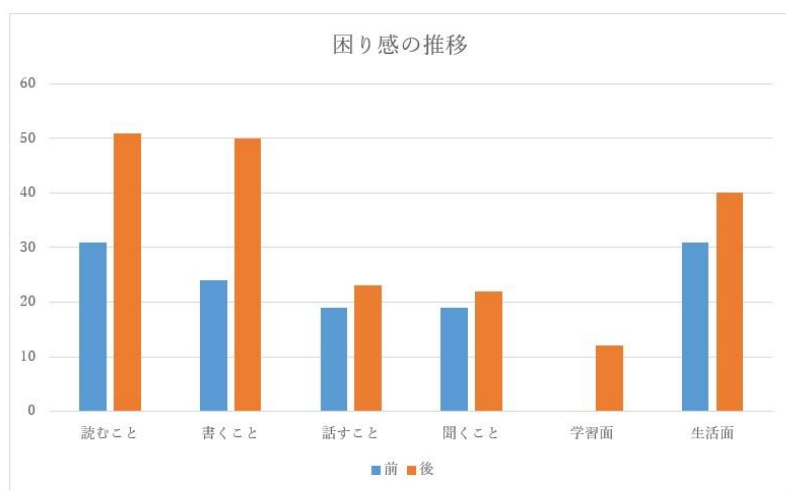
NPO 法人アジャスト (以下、アジャスト) は、東海地方を中心に特別な配慮が必要な児童生徒とその保護者に対して、学習支援と生活支援を行ってきた。小中学校とは違った地域活動の視点で特別な配慮が必要な外国につながる子どもの支援について考え、その子どもたちを取り巻く環境についての課題点を共有する場としたい。

2. 愛知と岐阜を中心とした特別な配慮が必要な児童生徒とその保護者、教育機関を巻き込んだ支援体制作り

アジャストでは、支援の専門家を児童生徒の自宅へ派遣し、子どもの認知特性に適した指導、ICT 教材を活用した支援、保護者の困り感に寄り添う支援を行っている。支援半年後にとったアンケートの結果から保護者の困り感が軽減されたことがわかった (Fig. 1)

3. 外国につながる児童生徒の家庭支援から見えてくる課題点

- 3.1 子どもに関わる組織の連携不足
- 3.2 保護者に寄り添うことのできる専門家の育成
- 3.3 子どもにも保護者にも配慮のある教材の開発
- 3.4 配慮事例の共有化



【参考】

アジャストのホームページ <https://npo-adjust.jimdo.com>